

# 祝・自治連合会 発足20周年

## 記念式典開催

今年で発足20周年を迎えた八幡市自治連合会は11月23日、男山中学校を拠点に「安全・安心のまちづくり」パレードと、20周年記念式典を文化センター大ホールで開催しました。



横断幕を掲げて行進する参加者たち

午前に行われた「安全・安心のまちづくり」パレードは、住民の防犯意識の向上、地域の防犯対策と犯罪への抑止を目的に、市内を6地域に分けて毎年開催しており、今年で12回目となりました。出発前に「安全・安心のまちづくり」に貢献された7人への感謝状の贈呈などが行われた後、京都府警察の音楽隊や平安騎馬隊の先導で、約1000人の参加者が行進。「振り込め詐欺に注意」などのプラカードを掲げ、防犯意識の向上を住民に訴えています。

午後からは、前総務副大臣、全国自治会連合会会長などの来賓や自治会員ら約1200人が出席する中、20周年記念式典を開催。同連合会会長の上原嘉昭さんはあいさつで「発足20周年を契機に、心新たに、さらに『住んで良かった』と思える『地域づくり』を『自助・共助・公助』の理念のもと、歩みを進めてまいります」と決意を述べられました。また、同連合会の活動に貢献された功労者7人の表彰や、ニュースキャスターの辛坊治郎さんによる「今知っておくべき大切な事」と題した講演会を行い、節目となる20周年を盛大に祝いました。



記念式典で表彰される功労者

## 中学生 未来に向け選挙体験

選挙権年齢の18歳への引き下げなどを考えるきっかけに、と、男山第三中学校の生徒会本部役員選挙が10月30日、市選挙管理委員会の協力を得て、国政選挙などで使われる投票箱を使用して行われました。同役員選挙は、社会の一員であるという市民意識を育てるシティズンシップ教育の一環として実施。はじめに、1・2年生の候補者10人が「あいさつ運動」などを通して、みんなが笑顔になる学校を目指します。などと、体育館で全校生徒に向けて演説。

その後、各教室で公職選挙法の改正や最初の投票者が投票箱の中を確認することなどを学び、クラスの選挙管理委員立ち合いの下、投票へ。生徒たちは、投票する候補者を真剣に考えて用紙に記入し、投票箱へ一票を投じていました。2年の内海明花里さんと矢内壮汰君は「投票箱は思っていたより大きく、しっかりしてて、選挙の雰囲気知れました。選挙に参加できるようになったら、みんなのことを考えてくれる人に投票したいです」と話していました。



投票箱に票を投じる生徒

## まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



熱気球に搭乗する家族連れら

## 背割堤の秋満喫

空から一望

秋の背割堤の魅力を感じてもらおうと11月7日、「背割堤秋の満喫プラン」が淀川河川公園背割堤地区で開催され、約1700人が来場しました。このイベントは、平成29年3月に同地区にオープン予定の「背割堤サービスセンター(仮称)」の広報も兼ね、淀川河川公園事務所が主催。会場では、熱気球搭乗体験会や、ポニーやヤギとのふれあいなどのイベントが催されました。熱気球搭乗体験会では、約

20mの高さまで上昇した熱気球から、紅葉した背割堤の桜並木や木津川、宇治川、桂川の三川合流地点、男山などを一望。搭乗した家族連れらは「高くて、すごい」と笑顔を見せながら、上空からの景色を楽しんでいました。枚方市から家族4人で訪れた河合小春ちゃん(5)は「楽しかったし、気持ちよかったです。熱気球から見たら人がちっちゃかった」と、熱気球からの眺めを満喫していました。



硬貨などを仕分ける女性会員ら

## 「1日1円」コツコツ貯金

### 八幡市老人クラブ連合会

11月16日、八幡市老人クラブ連合会による「愛の貯金箱」開封作業が福祉会館で行われ、女性会員ら約70人が貯金箱を開封し、硬貨などを仕分けました。この活動は、昭和56年から毎年行われており、今年で35回目。今年の2月に約3500世帯の会員宅に貯金箱を配布し、「1日1円」を合言葉に、毎日コツコツと買い物のお釣りを貯金してきました。会場には堀口市長も駆け付け、女性

会員らが4つのテーブルに分かれて作業を開始。テーブルの上には、次々と貯金箱から開封された硬貨が積み重ねられていき、見る見るうちに善意の山に。会員たちは、慣れた手つきで硬貨を1円とそれ以外に分けていき、袋いっぱい詰めていきました。市内7カ所の郵便局の協力で集計された合計金額は100万8千305円。全額が市に寄付され、福祉のために使われます。